

「急性非代償性心不全患者における予後予測

リスクスコアモデルと退院 6 ヶ月後の転帰に与える影響」

へのご協力をお願い

このたび、「急性非代償性心不全患者における予後予測リスクスコアモデルと退院 6 ヶ月後の転帰に与える影響」という当院独自の臨床研究にご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。心不全患者さんの予後を予測する要因は過去に多数報告されています。しかし、非常に多くの要因が報告されており、どの要因が最も予後予測精度が高いかはわかっていません。特に私たちリハビリテーションスタッフが関連する予後因子としては、脚の機能、日常生活動作能力、栄養状態がありますが、同様にどの因子が最も予後予測精度が高いか分かっていません。

そこで、当院に入院された心不全患者さんを対象に脚の機能、日常生活動作能力、栄養状態のどの要因が最も予後予測精度が高いか明確にするために本研究を行います。

この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーは漏洩しないように留意いたします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を下記連絡先までお伝え願いたいと存じます。連絡がないことをもって、研究参加にご同意いただいたこととさせていただきます。

1. 対象となる方

2016 年 1 月 1 日から 2021 年 10 月 31 日までの 5 年 10 ヶ月の間に急性非代償性心不全の診断で入院された患者さん

2. 研究課題名

急性非代償性心不全患者における予後予測リスクスコアモデルと退院 6 ヶ月後の転帰に与える影響

3. 研究実施機関

山口県立総合医療センター リハビリテーション科・循環器内科

4. 研究の方法、目的、意義

本研究はすでに退院されている患者さんの過去のデータを使用して行います。心不全患者さんの予後を推測するための様々なリスクスコアモデルの中でどのリスクスコアモデルが最も予後予測精度が高いか明確にするために研究を行います。この研究により

患者さんの予後予測精度が高い要因が明確となり患者さんに正確な情報を提供できます。

5. 協力をお願いする内容

診療録（カルテデータ）から心不全の基礎疾患，年齢，性別，body mass index(BMI)，geriatric nutritional risk index(GNRI)，世帯，入院期間，介護保険の有無，合併症，心機能，血液検査値，退院時内服薬，退院時身体機能，転帰について調査いたします。

6. 研究実施期間

承認日から 2024 年 7 月 31 日までにデータを解析いたします。

7. プライバシーの保護について

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律(平成 28 年法律第 89 号)に則り，個人情報の取り扱いには，十分に配慮いたします。研究対象者の情報は，電子カルテ上の診療情報から必要な情報を収集し，個人が特定できないように識別符号を割り付けるため個人情報が漏洩することはありません。

8. お問い合わせ

この研究について，何かお聞きになりたいこと，心配なことがありましたら，いつでも遠慮なく研究責任者にお尋ねください。

ご希望があれば，他の研究対象者の個人情報保護や当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で，研究計画及び研究方法に関する資料を閲覧することができます。

【研究責任者】

研究参加にご同意をいただけない患者さん及び関係者の皆様からの相談等への対応窓口は以下の通りです。

〒747-8511 山口県防府市大字大崎 10077 山口県立総合医療センター

研究責任者：三浦 正和（リハビリテーション科 理学療法士）

連絡先：0835-22-4411（山口県立総合医療センター）